MITSUBISHI

三菱パーソナル コンピュータ apricot

apricot AL Bシリーズ
（Windows XP Professionalインストールモデル）

はじめにお読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通りに操作してください。

本書では、特にことわりのない場合、Windows XP Professionalを、Windows XPと表記します。

なお、本書に記載のイラストはモデルにより異なります。

操作の流れ

1 **型番を控える** 2
本製品の型番を控えます。

2 **添付品の確認** 5
不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。

3 **使用場所の決定** 8
使用する場所を決めます。

4 **添付品の接続** 10
使い始めるのに、必要な機器を接続します。接続する前には、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をお読みください。

5 **Windowsのセットアップ** 13
はじめて電源を入れるときには、Windowsをセットアップします。

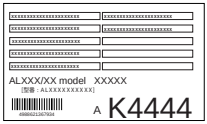
6 **マニュアルの使用方法** 20
添付されているマニュアルの使い方について説明しています。

7 **使用する環境の設定と上手な使い方** 23
使用する環境や運用、管理する上で便利な機能を設定します。

8 **付録 機能一覧** 25
各モデルの仕様を一覧表にまとめています。

1 型番を控える

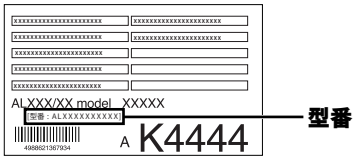
梱包箱のステッカーに記載されている12桁の型番を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。



型番を控える

型番を控えます。控え終わったら、P.5「2 添付品の確認」へ進んでください。

1. 型番を次の枠に控える



AL10FBH❶❷❸❹L

□の意味は次のとおりです。

❶インストールOSの種類、選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS	アプリケーションソフトウェア
	E	Windows XP Professional	なし
	J		Office Personal 2003

❷ FDDのあるなし、CD-ROM系のあるなしまたは種類を表しています。

✓	型番	FDD	CD-ROM系
	1	なし	CD-ROM
	A	FDD	
	J	FDD	CD-R/RW with DVD-ROM
	R	なし	
	Y	FDD	なし
	Z	なし	

❸合計メモリ、通信機能の種類を表しています。

✓	型　番	合計メモリ	通信機能
	2	512MB（オンボード256MB＋256MB）	LAN&モデム
	4	256MB（オンボード256MB）	
	O	512MB（オンボード256MB＋256MB）	LAN&モデム&無線LAN（IEEE802.11b）
	Q		LAN&モデム&無線LAN（IEEE802.11a/b/g）
	W	256MB（オンボード256MB）	
	X	256MB（オンボード256MB）	LAN&モデム&無線LAN（IEEE802.11b）

❹ハードディスクの容量、再セットアップ用媒体のあるなしを表しています。

✓	型　番	ハードディスク容量	再セットアップ用媒体
	F	20GB	未添付
	H	40GB	
	J	60GB	
	S	20GB	添付
	U	40GB	
	V	60GB	

※上記の❶～❹のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

次にP.5「2 添付品の確認」に進んでください。

2 添付品の確認

添付品の中身を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

- 梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合があります。
- 本機を箱から取り出すときは、マニュアル類が入っている面が下になるように、箱を置きなおしてください。

❶箱の中身を確認する

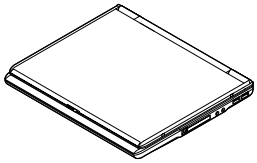
□保証書（本体梱包箱に貼り付けられています）

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元またはお問い合わせの窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

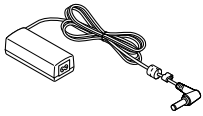
□はじめにお読みください（このマニュアルです）

モバイルノート

□本機



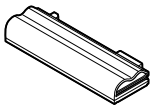
□ACアダプタ



□電源コード

□ウォールマウントプラグ

□バッテリパック



□モジュラーケーブル
（FAXモデムケーブル）

□お客様へのお願い
（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□アプリケーションCD-ROM／マニュアルCD-ROM
□安全にお使いいただくために
□活用ガイド　再セットアップ編
□お問い合わせのご案内

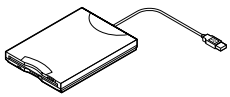
□各インストールOS用添付品
Windows® XP Professionalファーストステップガイド

Office Personal 2003を選択した場合添付

□選択アプリケーション
Microsoft® Office Personal 2003
添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。

FDDを選択した場合添付

□フロッピーディスクドライブ



再セットアップ用媒体を選択した場合添付

□再セットアップ用CD-ROM

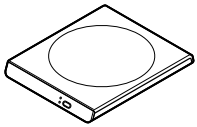
CD-ROM系の種類がCD-R/RW with DVD-ROMの場合添付

□RecordNow DX / DLA CD-ROM

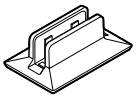
□再セットアップ用CD-ROM（起動用）

CD-ROM系を選択した場合添付

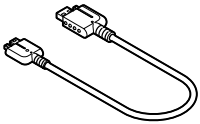
□CD-ROMドライブ、
CD-R/RW with DVD-ROMドライブ



□CD/DVDドライブ用スタンド



□CD/DVDドライブ用ケーブル



❷本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

AL XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。

以上で添付品の確認は完了です。
次のページの「3 使用場所の決定」へ進んでください。

3 使用場所の決定

使用場所を決める

○ 使用に適した場所

使用に適した場所は次のような場所です。

◆屋内
◆温度5℃～35℃
　湿度20%～80%
　（ただし結露しないこと）
◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない
　（机の上など）

× 使用に適さない場所

次のような場所では使用しないでください。本機（apricot AL Bシリーズを指します）の故障や破損の原因となります。

◆磁気を発生するもの（扇風機、スピーカなど）や磁気を帯びているものの近く
◆直射日光があたる場所
◆暖房機の近く
◆薬品や液体の近く
◆腐食性ガス（オゾンガス）などが発生する場所
◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く
◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所
◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所
◆ホコリが多い場所
◆本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所
◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

使用場所が決まったら……

使用場所が決まったら、本機の使用と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。
本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。

本機を移動するときは……

本機に接続している、すべてのケーブル（電源ケーブルなど）を取り外してください。
本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また移動中に、壁などにぶつけたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で使用場所の決定は完了です。
次のページの「4 添付品の接続」へ進んでください。

4 添付品の接続

接続するときの注意

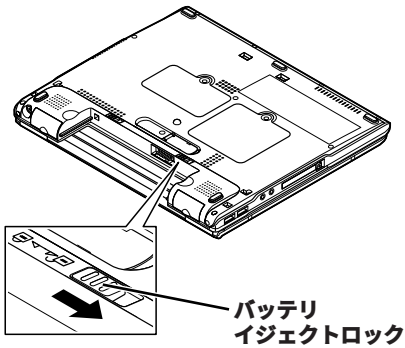
- 添付品の接続をするときは、コネクタの端子に触れない
  故障の原因となります。

添付品の接続方法

1. バッテリパックを取り付ける

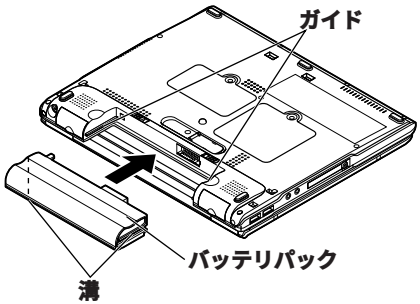
❶本体を裏返す

❷バッテリイジェクトロックを矢印の方向にスライドさせ、ロックを解除する

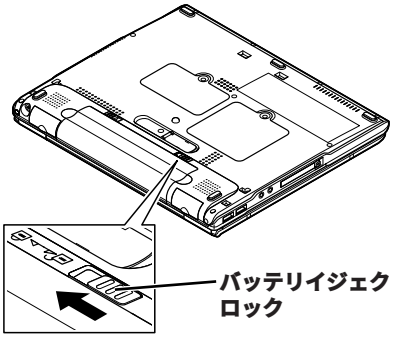


❸本体にバッテリパックを取り付ける

バッテリパックの両側の溝と本体のガイドを合わせて、矢印の方向にゆっくりとスライドさせ、カチッと音がするまでしっかり取り付けてください。
取り付けるときは、バッテリパックの向きに注意してください。



❹バッテリイジェクトロックを矢印の方向にスライドさせ、ロックする



2. ACアダプタを取り付ける

本機には、電源コードの他にウォールマウントプラグが添付されています。ウォールマウントプラグは携帯に便利な小型のプラグで、電源コードのかわりにACアダプタに接続して使用することができます。用途にあわせて電源コードかウォールマウントプラグのどちらかをお使いください。

- 購入直後は、バッテリ駆動ができないことや動作時間が短くなること、バッテリ残量が正しく表示されないことがあります。
  必ず、フル充電してから使用してください。
- Windowsのセットアップが終るまで、ACアダプタを抜かないでください。

❶電源コードを使用する場合

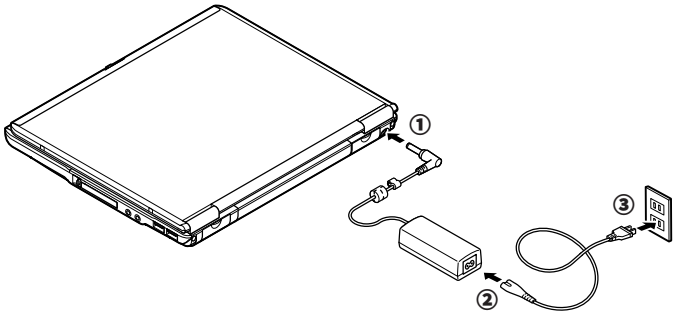
①ACアダプタを本体に差し込む

ACアダプタを、本体背面のDCコネクタ(⎓)に差し込みます。

②電源コードをACアダプタに接続する

③電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

ACアダプタを取り付けると、自動的にバッテリの充電がはじまり、バッテリ充電ランプ(▭)がオレンジ色に点灯します。
バッテリがフル充電されるとバッテリ充電ランプ(▭)が消灯します。



バッテリの充電状態によってはバッテリ充電ランプ(▭)が点灯しない場合があります。これはバッテリが95%以上充電されているためです。

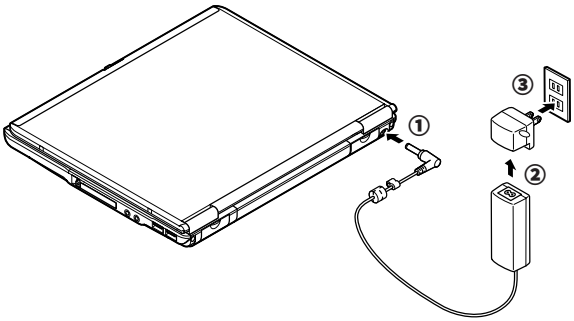
❷ウォールマウントプラグを使用する場合

①ACアダプタを本機背面のDC コネクタ(⎓)に差し込む

②ウォールマウントプラグをACアダプタに接続する

③ウォールマウントプラグを壁などのコンセントに差し込む

ACアダプタを取り付けると、自動的にバッテリの充電がはじまり、バッテリ充電ランプ(▭)がオレンジ色に点灯します。
バッテリがフル充電されるとバッテリ充電ランプ(▭)が消灯します。



バッテリの充電状態によってはバッテリ充電ランプ(▭)が点灯しない場合があります。これはバッテリが95%以上充電されているためです。

以上で添付品の接続は完了です。
次のページの「5 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

5 Windowsのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

セットアップをするときの注意

- **プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない**
  この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した場合は、先に「5 Windowsのセットアップ」から「7 使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。
- **途中で電源を切らない**
  作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。
- **セットアップ中は放置しない**
  キー操作が必要な画面で、本機を長時間放置しないでください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、P.18「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

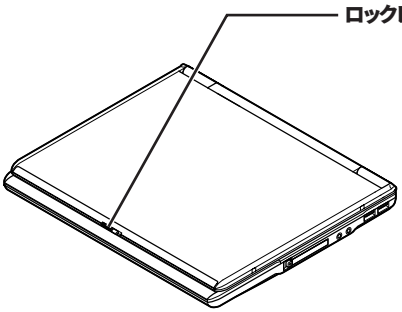
セットアップを始める前の準備

Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

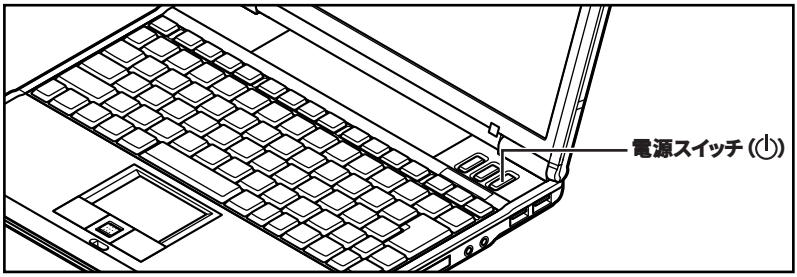
電源を入れる

❶本機のふたを開ける

ロックレバーを右にスライドさせたまま、ふたを持ち上げます。



❷本機の電源を入れる



セットアップの作業手順

1. Windows XPのセットアップ

Windows XPのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまでは、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④～⑧の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」の画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
（同意しない場合セットアップは続行できません）

❹「コンピュータに名前を付けてください」の画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❺「管理者パスワードを設定してください」の画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「このコンピュータをドメインに参加させますか？」の画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❼「インターネットに接続する方法を指定してください。」の画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❽「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」の画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❾「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」の画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

❿「設定が完了しました」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Professionalのセットアップが終了したら、次の「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

電源を切る

❶「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

❷「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

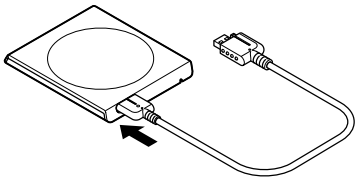
CD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブを接続する

CD-ROMドライブまたは、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ（以降、総称してCD/DVDドライブ）を選択した場合は、次の手順で本機に接続してください。

CDレスモデルをお使いの場合、別売のCD-R/RW with DVD-ROMドライブが必要になります。
本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」の電子マニュアルをお読みください。

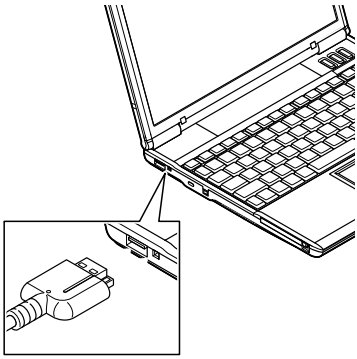
❶CD/DVDドライブ背面に、CD/DVDドライブ用ケーブルの○マークのある方のプラグを接続する

プラグの向きに注意して、差し込んでください。



❷CD/DVDドライブ用ケーブルのUSBコネクタのある方のプラグを、本機左側面のUSBコネクタ（⇐）に接続する

プラグの向きに注意して、差し込んでください。



以上でWindowsのセットアップは完了です。
次にP.20「6 マニュアルの使用方法」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

電源スイッチを押しても電源が入らない

- **電源ケーブルの接続が不完全である事が考えられるので、一度電源ケーブルをコンセントから抜き、本体とACアダプタ、ACアダプタと電源ケーブルがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源ケーブルをコンセントに差し込む**

  電源ケーブルを接続しなおしても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

セットアップの画面が表示されない

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press〈F1〉to resume,〈F2〉to Setup」または「〈F1〉キーを押すと継続、〈F2〉キーを押すとセットアップを起動します。」というメッセージが表示された場合は、次の手順にしたがってください。

❶【F2】を押す

BIOS セットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。

❷【F5】、【F6】で時間（24 時間形式）を設定し【ENTER】を押す

❸同様に分、秒、年（西暦）、月、日を順に設定する

言語を日本語以外に設定している場合は、時、分、秒、月、日、年の順に設定します。

❹【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

❺「はい（Yes）」を選び、【ENTER】を押す

BIOS セットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。

❻【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

❼「はい（Yes）」を選び、【ENTER】を押す

BIOSセットアップユーティリティが終了し、Windowsが自動的に再起動します。

このあとは、P.15「セットアップの作業手順」をご覧になり、作業を続けてください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- **電源を入れて、表示される画面をチェックする**
  CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます。(CHKDSKは実行されない場合もあります。)
  セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windowsは起動しません。Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。
  再セットアップについては、『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- **パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して強制的に終了する**
  電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の「・電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

6 マニュアルの使用方法

本機に添付または「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。
また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド　ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」の「その他」、「アフターケアについて」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「apricot AL 電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「apricot AL 電子マニュアル」の使用方法については、P.22「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●『安全にお使いいただくために』
本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●インストールOS用ガイド
『Microsoft® Windows® XP Professionalファーストステップガイド』
Windowsの全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　再セットアップ編』
本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●『活用ガイド　ハードウェア編』 ※
本体の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)について確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　ソフトウェア編』 ※
アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップするとき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

●選択アプリケーションのユーザーズマニュアル
モデルによって、Office Personal 2003のマニュアルが添付されています(P.2「1 型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●無線LAN用マニュアル　※
『無線LAN(IEEE802.11b)について』
『無線LAN(IEEE802.11a/b/g)について』
無線LANの各機能について知りたいときにお読みください。

●『CD-R/RW with DVD-ROMドライブ取り扱いの手引き』 ※
オプションのCD-R/RW with DVD-ROMドライブ(AL-MI-BU14)をご購入された場合お読みください。

●『FDドライブ取り扱いの手引き』 ※
オプションのFDドライブ(AL-MI-BU21)をご購入された場合お読みください。

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

❶CD-ROMドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする

❷「エクスプローラ」、または「マイコンピュータ」を開く

❸CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック

❹「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック

「apricot 電子マニュアル」が表示されます。

❺「apricot ALシリーズ」をクリック

「apricot AL 電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAcrobat Reader 5.0をインストールしておく必要があります。詳しくはapricot AL 電子マニュアル『活用ガイド ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」「Acrobat Reader 5.0」をご覧ください。

メモ

- 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。

  「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名はすべて英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名にコピーすると起動することができなくなります。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- 弊社のパソコン関連総合サイト「apricotホームページ」では、弊社製の電子マニュアルをダウンロードできるサービスを行っております。

  http://www2.mdit.co.jp/service/apricot/

  「取扱説明書」にある取扱説明書メニューをご覧ください。

以上でマニュアルの使用方法は完了です。
次のページの「7 使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

7 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド　ハードウェア編』および『活用ガイド　ソフトウェア編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので、削除しないでください。以下の方法でお読みください。

■Windows XPの場合

- 「apricot AL 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
- 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

2. Windows XPのService Packについて

Service Pack 1

Windows XPインストールモデルをお使いの場合、本機にはService Pack1がインストールされています。Service Pack 1を削除する場合は、必ず『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加（Windows XP Professional）」の「「Service Pack 」について」をご覧になり、必要に応じて削除してください。削除時の注意及び削除方法が記載されています。

3. Windows Updateについて

Windows Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。Windowsを最新の状態に保つために、Windows Updateを定期的に実施してください。Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」、または「ヘルプ」をご覧ください。

4. Securityの設定

スーパバイザ/ユーザパスワード、盗難防止用ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパスワード)、内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(盗難防止用ロック)があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編』「PART1　本体の構成各部」の「セキュリティ機能」をご覧ください。

5. データのバックアップの設定

データのバックアップ方法については、『活用ガイド ソフトウェア編』「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください

6. 利用する添付アプリケーションの設定

EASYCRYPTなど

本機にはファイルを暗号化/複号化するアプリケーション(EASYCRYPT)がハードディスクにセットアップイメージとしてインストールしてあります。また「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。

この他にも便利なアプリケーションが添付されています。
詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

7. 上手な使い方

本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編』「PART4　付録」の「お手入れについて」をご覧ください。

8 付録　機能一覧

仕様一覧

apricot AL Bシリーズ機能仕様

型名※1			AL10FBH
CPU※41			超低電圧版インテル® Pentium® M プロセッサ (拡張版Intel SpeedStep® テクノロジ搭載)※2
CPUクロック周波数			1GHz
キャッシュメモリ（CPU内蔵）		1次	インストラクション用32KB/データ用32KB
		2次	1024KB
BIOS ROM（Flash ROM）			512KB（BIOSほか）
システムバス			400MHz（メモリバス:266MHz）
チップセット			インテル® 855PMチップセット
最大メモリ（メインメモリ）			768MB
表示機能	表示素子		12.1型TFTカラー液晶（XGA）
	グラフィックアクセラレータ※7		ATI社製 MOBILITY™ RADEON™ 7500（デュアルディスプレイ機能※37、ハードウェアT&L機能※10、スムージング機能※9、画面回転機能をサポート、AGP対応）/ビデオRAM 32MB
	解像度・表示色※11（括弧内は外部モニタ接続時）※12	640×480ドット※21<VGA>	最大1677万色※13（最大1677万色）
		800×600ドット<SVGA>	最大1677万色※13（最大1677万色）
		1,024×768ドット<XGA>	最大1677万色※13（最大1677万色）
		1,280×1,024ドット<SXGA>	最大1677万色※13（最大1677万色）※バーチャルスクリーン機能により実現
		1,600×1,200ドット<UXGA>	最大1677万色※13（最大1677万色）※バーチャルスクリーン機能により実現
		1,920×1,440ドット	最大1677万色※13（最大1677万色）※バーチャルスクリーン機能により実現
サウンド機能	音源/サウンド機能		PCM録音再生機能（ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8KHz～48KHz、全二重化対応）、MIDI音源機能（ソフトウェアMIDI［XG、XG-Lite、GM、GS演奏モード対応、DLS2対応※15］）、マイクノイズ除去機能※16、3Dポジショナルサウンド
	スピーカ／スピーカ定格出力		内蔵ステレオスピーカ／0.48W
	サウンドチップ		ADI社製 AD1981B搭載
通信機能		LAN	標準内蔵（100BASE-TX／10BASE-Tに対応）
通信機能	FAXモデム※6	FAX	モデム内蔵（データ転送速度　最大56Kbps（V.90）エラー訂正V.42/MNP4データ圧縮V.42bis/MNP5）
		モデム	内蔵（データ転送速度　最大14.4Kbps　（V.17）FAX制御クラス1）
入力装置	キーボード		本体との一体型、JIS標準配列（英数・かな）、Fnキー（ホットキー対応）、12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・右Ctrlキー付
	ワンタッチスタートボタン		任意のアプリケーションを登録可能なワンタッチスタートボタンを2つ装備(出荷時はMicrosoft® Internet Explorer、Outlook Expressを登録済み)
	ポインティングデバイス※19		スクロール機能付きタブレットポインタ標準装備※20

型名※1			AL10FBH
インターフェイス※42	IEEE1394		IEEE1394×1（4ピン）
	USB		USB(USB2.0)×3※23
	ディスプレイ		外部ディスプレイコネクタ(アナログRGB)ミニD-sub15ピン×1
	通信関連		RJ45（100BASE-TX/10BASE-T）LANコネクタ、RJ11モジュラコネクタ（FAXモデム）
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1（マイク入力インピーダンス10kΩ 入力レベル5mVrms、バイアス電圧3.7V）
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャックx1（ヘッドフォン出力インピーダンス16Ω～100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用　（ライン出力レベル　1Vrms）
	CD/DVDドライブ専用電源/F		3ピン×1
PCカードスロット			TypeI/II×1スロット(TypeIII使用不可)、PC Card Standard準拠、CardBus対応
コンパクトフラッシュカードスロット			CF TypeI/II×1スロット
パワーマネージメント			自動または任意設定可能(CPU制御、HDD制御、モニタ節電機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能)
電源			リチウムイオンバッテリ（M）（AL-MI-BP31、DC14.8V、2,200mAh）（バッテリパックは消耗品です。）、セカンドバッテリパック（AL-MI-BP32、DC14.8V、3,000mAh）（バッテリパックは消耗品です。）、またはAC100V±10%、50/60Hz（ACアダプタ経由）[ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全規格を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用（日本仕様）です。また、ウォールマウントプラグ125Vまでの、日本および米国の安全認定を取得しています。日本以外の国で使用する場合は、別途電源コードが必要です。]
消費電力※29（最大構成時）			約13W（約50W）
エネルギー消費効率（ACアダプタを含む）※30			S区分0.00046
電波障害対策			VCCI ClassB
外形寸法（突起部含まず）			270(W)×238(D)×16.6～26.9※31(H)mm
質量（標準バッテリを含む）※32			約1.34kg
温湿度条件			5～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)
インストール可能OS※27			Windows® XP Professional（SP1）※8、Windows® 2000 Professional
主な添付品			ACアダプタ（ウォールマウントプラグ付）、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM、印刷マニュアル類、保証書 他

※ 1：選択した構成での型番、型名については、「1 型番を控える」をご参照ください。
※ 2：電源の種類（AC 電源、バッテリ）やシステム負荷に応じて動作性能を切り替える機能です。
※ 6：回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。
※ 7：Microsoft® 社の DirectX® に対応。
※ 8：プリインストール OS 以外の OS 環境では、拡張版 Intel SpeedStep® 機能が使用できない場合があります。
※ 9：文字や画面を滑らかに拡大する機能。
※10：3D 描画演算時に「変換処理(Transform)」「照明処理(Lighting)」をハードウェアで支援する機能。ソフトウェア(CPU)演算による描画に比べ、より高度な描画演算が可能になり、グラフィック描画品質が向上します。なお、本機能は対応するソフトウェア(DirectX、Direct3D 対応)との組み合わせで有効な機能です。
※11：表示素子（本体液晶ディスプレイ）より低い解像度を選択した場合、拡大表示機能により、液晶全体に表示可能。
※12：本機の持つ解像度及び色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同時表示可能。ただし、拡大表示機能を使用しない状態で、640 × 480，800 × 600 ドットの解像度では、外付けディスプレイ全体には表示されません。
※13：1,677 万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現
※15：DLS は「DownLoadable Sounds」の略です。DLS を使うと、カスタム・サウンド・セットを SoundMAX シンセサイザにロードできます。
※16：ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音が取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。
※19：タブレットポインタ使用時は PS/2 マウスの接続はしないでください。
※20：スクロールボタンやタブレットポインタの拡張機能をご利用の際は、ドライバ(標準添付)のインストールが必要です。
※21：Windows® 2000 Professional のみ表示可能。
※23：USB2.0 に設定されています（初期状態）。なお、市販のインストール可能 OS 使用時は OS 用ドライバに USB2.0 ドライバは含まれません。
※27：「SP」は「Service Pack」の略称です。
※29：OS は Windows® XP Professional、メモリ 256MB、ハードディスク 20GB の構成で測定。

※30：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
※31：最薄部～最厚部（バッテリ部、ゴム足部、上蓋エンブレムの突起部を除く。）
※32：PC カード、コンパクトフラッシュカードは未装着。
※37：本体の液晶ディスプレイと、外付けディスプレイで、異なるデスクトップ画面を表示する機能。Windows® XP Professional で実現。
※41：使用環境や負荷により CPU 動作スピードをダイナミックに変化させる制御を搭載しています。
※42：接続できるすべての装置の動作を保証するものではありません。

◆セレクションメニュー

型名※1			AL10FBH
バックアップイメージ		標準	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納※52
		選択可能	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納 & 再セットアップ用CD-ROM※54添付
メモリ※51		256MB	ECC無しDDR-SDRAM、PC2100、オンボード256MB
		512MB	ECC無しDDR-SDRAM、PC2100、オンボード256MB ＋ 256MB SO-DIMM ×1
通信機能	無線LAN (IEEE802.11b)		IEEE802.11b準拠※58、WPA対応 、WEP対応 [暗号鍵長64/128ビット (ユーザ設定鍵長40/104ビット)]
	無線LAN (IEEE802.11a/b/g)		IEEE802.11a/b/g準拠※58、WPA対応 、WEP対応 [暗号鍵長64/128/152ビット (ユーザ設定鍵長40/104/128ビット)]
FDD			USB接続、外付け、2モード(720KB/1.44MB)対応※53、USB1.1準拠
ハードディスク		20GB	約20GB※56、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応
		40GB	約40GB※63、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応
		60GB	約60GB※63、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応
CD-ROM系※66		CD-ROM	USB接続、外付け、最大24倍速(最内周10倍速、最外周24倍速)、USB2.0対応
		CD-R/RW with DVD-ROM※67 ※70	USB接続、外付け、CD-ROM読込み:最大24倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、CD-R書込み:最大24倍速、CD-RW書き込み:最大10倍速(High Speed CD-RWメディア対応※68、バッファアンダーランエラー防止機能付き)、USB2.0対応
バッテリ※62	リチウムイオン(M) (AL-MI-BP31)	駆動時間(JEITA※59準拠)	約3.6～6.0時間 (約4.8時間)
		充電時間(ON時/OFF時)	約2.4時間/約2.4時間
	リチウムイオン(M) (AL-MI-BP31) +セカンドバッテリパック (AL-MI-BP32)	駆動時間(JEITA※59準拠)	約8.4～14.4時間(約11.4時間)
		充電時間(ON時/OFF時)	約5.8時間/約5.8時間

※51： メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設 RAM ボードを取り外す必要がある場合があります。

※52： ハードディスク内の約2GBを再セットアップ領域として使用。これらの再セットアップ用バックアップイメージをCD-R 媒体に書き出す際は、セレクションメニューで選択可能な CD-R/RW with DVD-ROM ドライブが必要です。

※53： 720KB のフォーマット不可。

※54： 再セットアップ用 CD-ROM を使用するには、セレクションメニューまたは別売の拡張機器で選択可能な CD-ROM または CD-R/RW with DVD-ROM ドライブが必要です。

※56： Windows® XP Professional は 10GB が NTFS、残りも NTFS でフォーマット済み。また、最後の約 2GB を再セットアップ領域として使用。

※58： 通信速度: IEEE802.11b 最大 11Mbps。IEEE802.11a/g 最大 54Mbps。ただし通信速度はそれぞれの規格による速度(理論値)であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OS などによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。また、IEEE802.11b/g(2.4GHz)と IEEE802.11a(5GHz)は互換性はありません。

※59： JEITA バッテリ動作時間測定法 (Ver.1.0) に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。
JEITA バッテリ動作時間測定法 (Ver.1.0)
Windows® XP Professional にて測定。
駆動時間＝(測定法 a+ 測定法 b) ／ 2

測定法 a、b 共通条件 ＜条件＞

1. 「電源オプションのプロパティ」の「アラーム」タブ内の「バッテリ低下アラーム」のチェックボックスのチェックを外し、「バッテリ低下アラーム」を無効にする。
2. 「電源オプションのプロパティ」の「アラーム」タブ内の「バッテリ切れアラーム」 のチェックボックスのチェックを外し、「バッテリ切れアラーム」を無効にする。
3. LCD 輝度：測定法 a に於いて 20cd を下回らない値に設定。
   測定法 a：輝度 8 段階中下から 2 段目
   測定法 b：輝度 8 段階中下から 1 段目
4. 「画面のプロパティ」の「スクリーンセーバー」タブ内の「スクリーンセーバー (S)」を「(なし)」に設定し、スクリーンセーバーを無効にする。

測定法 a ＜条件＞
1. 動画再生ソフト：Windows Media Player にて連続再生。
2.「電源オプションのプロパティ」の「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目を全て「なし」に設定。
3.「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」の「音量」、「デバイスの音量」、「ミュート（M）」のチェックボックスにチェックを入れる。

測定法 b ＜条件＞
1. デスクトップ画面の表示を行った状態で放置。
2.「電源オプションのプロパティ」の「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目の「ハードディスクの電源を切る（I）」を「3 分後」に設定。 他の項目は「なし」に設定。

※62： バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって上記記載時間と異なる場合があります。バッテリパックは消耗品です。長時間駆動設定時、CPU 動作性能は LOW モード。
※63： Windows® XP Professional は 20GB が NTFS、残りも NTFS でフォーマット済み。 また、最後の約 2GB を再セットアップ領域として使用。
※66： コピーコントロール CD など、一部の音楽 CD の作成及び再生ができない場合があります。
※67： CD-R 書き込みツール「RecordNow DX/DLA」が添付されます。
※68： 8 倍速以上で書き換えるには、High Speed CD-RW メディアが必要です。
※70： DVD ビデオの再生には、DVD ビデオ再生ツールの購入が必要です。

FAXモデム

内蔵FAXモデム

項目		規格
適用回線		加入電話回線
ダイヤル方式		パルスダイヤル（10/20PPS）
		トーンダイヤル（DTMF）
FAX機能	交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
	同期方式	半2重調歩同期方式
	通信規格※1	ITU-T V.17：14,400/12,000/9,600/7,200bps V.29：9,600/7,200bps V.27ter：4,800/2,400bps V.21ch2：300bps
	送信レベル	-11～-15dBm（出荷時-15dBm）
	受信レベル	-10～-40dBm
	制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド（CLASS1）
データモデム機能	同期方式	全2重調歩同期方式
	通信規格	ITU-T V.90：56,000～28,000bps※2 V.34：33,600～2,400bps V.32bis：14,400～4,800bps V.32：9,000～4,800bps V.22bis：2,400/1,200bps V.22：1,200/1,600bps V.21：300bps
	エラー訂正	ITU-T V.42（LAPM）MNP class4
	データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
	送信レベル	-11～-15dBm（出荷時-15dBm）
	受信レベル	-10～-40dBm
	制御コマンド	HayesAT コマンド準拠※3

※1： 回線状態によって、通信速度が変わる場合があります。

※2： 送信時は33,600～2,400bpsになります。

※3： ATコマンドについては、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」の「apricot AL 電子マニュアル」の『活用ガイド ソフトウェア編』の中の『ATコマンド一覧』をご覧ください。

内蔵LAN

規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX使用時:100Mbps
	10BASE-T使用時:10Mbps
伝送路	100BASE-TX使用時:UTPカテゴリ5
	10BASE-T使用時:UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大1024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	100BASE-TX:最大約200m/ステーション間 10BASE-T:最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式

※:リピータの台数など、条件によって異なります。

無線LAN(IEEE802.11b)

無線LAN(IEEE802.11b)は、2.4GHz無線LAN(IEEE802.11b)対応機器と通信することができる無線LANです。

2.4GHz無線LAN(IEEE802.11b)規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11g ARIB STD-T66
通信速度	11/5.5/2/1(Mbps)※1
変調方式	DS-SS方式
無線チャンネル	1～11ch
周波数帯域	2.4GHz帯域(2.4～2.4835GHz)
セキュリティ機能	WPA(Wi-Fi Protected Access)
暗号化機能	暗号化鍵長64bit、128bit

※ 1：各規格による速度(理論値)であり、実行速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※ 2：設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bit です。

無線LAN(IEEE802.11a/b/g)

無線LAN(IEEE802.11a/b/g)は、2.4GHz無線LAN(IEEE802.11b/g)と5GHz無線LAN(IEEE802.11a)を切り替えて通信することができる無線LAN規格です。それぞれの無線LAN規格の概要は以下の通りです。

2.4GHz無線LAN(IEEE802.11b/g)規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b ARIB STD-T66
通信速度	IEEE802.11g:54/48/36/24/18/12/6(Mbps)※1 IEEE802.11b:11/5.5/2/1(Mbps)※1
変調方式	OFDM方式(54/48/36/24/18/12/6Mbps時) DS-SS方式(11/5.5/2/1Mbps時)
無線チャンネル	1～13ch
周波数帯域	2.4GHz帯域(2.4～2.4835GHz)
セキュリティ機能	WPA(Wi-Fi Protected Access)
暗号化機能	暗号化鍵長64bit、128bit、152bit※2

5GHz無線LAN(IEEE802.11a)規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11a ARIB STD-T71
通信速度	54/48/36/24/18/12/6(Mbps)※1
変調方式	OFDM方式
無線チャンネル	34ch、38ch、42ch、46ch
周波数帯域	5GHz帯域(5.15～5.25GHz)※3
セキュリティ機能	WPA(Wi-Fi Protected Access)
暗号化機能	暗号化鍵長64bit、128bit、152bit※2

※ 1：各規格による速度(理論値)であり、実行速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※ 2：設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bit、128bitです。

※ 3：5GHz無線LANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。

おことわり

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはお問い合わせ窓口へご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XPおよび本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) 本装置の不具合に起因して生じた直接的、間接的および偶発的損害に対するいかなる責任も負いかねます。
(10) 本書に記載しているWebサイトは、2003年11月現在のものです。

Microsoft、MS、Windows、Officeロゴ、Outlook、PowerPoint、Bookshelf、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Celeron, Intel, Intel SpeedStep, およびPentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標あるいは登録商標です。
Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
Sonic RecordNowおよびSonic DLAは、米国Sonic Solutionの登録商標です。
Copyright 1999,2003 InterVideo、Incorporated. All rights reserved.
Symantec、Symantec ロゴは、Symantec Corporationの登録商標であり、各製品名はSymantec Corporationの登録商標または商標です。
©2003 Symantec Corporation. All Rights Reserved.
PS/2は、IBMが所有している商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

810593035A

このマニュアルは再生紙(古紙率100%)を使用しています。

初版 2003年 12月
©MITSUBISHI ELECTRIC INFORMATION TECHNOLOGY CORPORATION 2003
三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
NB493134-005

853-810593-035-A